

目標達成計画

作成日：平成25年4月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の表現が聞き取りが難しい利用者の場合、家族の意向が取り入れられてのプラン作成となっている。聞き取り困難な入居者の思いを把握するため、さまざまな手法の工夫が必要である。	個別ケアの充実	○日々のケアにおいて詳細な記録 ○家族面会時の話題なども記録に残す。 ○生活歴から五感を刺激できるリハ内容や生活リハを検討。	6ヶ月
2	26	ミーティングで検討されたケア内容がケアプランに十分に反映されていない。	ケアプランの的確な反映	○モニタリング月にはミーティングで対象者を挙げて意見を集約。それをケアプランに反映させる。(すべてをプランに反映させるのではなく、選択し優先順位をつける。) ○「個別ケア」ノートを作成し、活用する。	6ヶ月
3	40	食べたいものや味付け、食材など入居者の満足度等、思いや希望を取り入れる食事の支援、食事を楽しむ事のできる支援等の工夫が必要。	本人の好みのもを食べる機会を確保	○嗜好調査やアンケートをとる。 ○バイキングや収穫した野菜等の調理の企画や立案、実施につなげる。	6ヶ月
4	49	近くの店にショッピングに行ったり、時には外食等、気分転換、ストレス解消の支援が必要。	個々の誕生日の計画立案	○本人の希望をアンケートや聞き取り調査する ○担当介護員が中心となり、家族と連携を取りともに計画を立案し、実行する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。